

ロシア留学体験レポート

21018033 小飯塚百佳

私は留学中、常に心がけていたことがある。それは、自ら積極的にコミュニケーションを取ることだ。私は他の学生に比べロシア語が苦手だ。そのため、最初は授業についていくことで精一杯だった。授業初日は、先生が言っていることが一つも理解できなかった。留学前にもっと勉強しておけばよかったと後悔した。また、授業で発言することが、とても怖かった。しかし、クラスメイトの韓国人とコミュニケーションを取ることを心がけた。彼女たちはすぐに心を開いてくれ、私が困っているとすぐに助けてくれた。そのため、私は徐々に授業を楽しめるようになった。最初は彼女たちと英語で会話をしていたが、帰国前にはロシア語を使って会話ができるようになった。休日に彼女たちと寮のキッチンを使って、お互いの国の料理を作った。食文化の交流をすることもできた。また、学校の行事を通して中国人の友達も作ることができた。一緒にご飯を食べに行き、お互い国の文化について話し合った。「初めて外国人の友達ができたと」言ってくれ、とても嬉しかった。ロシア人とは、大学のクラブで交流することができた。毎週水曜日に、英語スピーキングクラブとロシア語スピーキングクラブがあった。ロシア人とロシア語で会話することは、とても難しかった。しかし、私がロシア語を理解できないときは、すぐに英語に変えてくれ、少しずつコミュニケーションが取れるようになった。このクラブでは、ロシア語、英語を使ってゲームをした。ここには、日本人以外の留学生もおり、私はアメリカ人とも交流することができた。そして、たくさんの友達を作ることができた。休日は、このクラブのロシア人と過ごすことが多かった。彼らは、ウラジオストクのさまざまな場所を紹介してくれた。建物の歴史などを簡単なロシア語、英語で教えてくれたりと、彼らと行ったからこそ、学べることがたくさんあった。授業だけでなく、休日も学ぶことが多く、本当に毎日充実していた。徐々にロシア語の力が向上していることを実感できた。その中で最も向上させることができたのは、リスニング力である。最初は、全く理解することができなかった授業が、少しずつ理解できるようになった。慣れないことも、戸惑うことも多かったが、たくさんの友達のおかげで、毎日楽しみながら生活することができた。唯一困ったことは、時々シャワーのお湯が出なくなることだ。大変なこともあったが、この留学を通して、ロシアだけではなく、中国、韓国、アメリカなどさまざまな国について深く知ることができた。実際にコミュニケーションを取らないと分からないことも、たくさんあると感じた。留学で学んだことを活かし、これからもロシア語、英語、異文化についての学習を継続していきたい。